

# 1月のできごと まちかど クリップ

## 科学センター夜間開館 体験講座など楽しむ

苫小牧市科学センター（旭町3）で11日、開館時間を午後8時まで延長する「夜間開館」が行われ、親子連れら411人が体験講座やプラネタリウムなどを楽しみました。

実験室ではクエン酸と重曹、グリセリンなどを使った「入浴剤をつくろう」が行われました。参加者らは紙コップの中で材料を混ぜ合わせ、バニラエッセンスで香り付け。卵の空きパックに詰めて持ち帰りました。

ミール展示館ではストローと紙を組み合わせた飛行機作りが行われ、子どもたちは完成した飛行機を飛ばし合っていました。

拓勇小2年の小林琉妃凧（るきな）さんは「入浴剤の材料を混ぜる時、なかなか固まらなくて大変でした。お風呂で使うのが楽しみ」と瞳を輝かせていました。



▶入浴剤作りに挑戦

## 子ども総合支援ネット主催 手づくりキャンドル教室



▲カラフルなキャンドルの出来上がり

農業体験を取り入れたフリースクール「こども村」を運営する苫小牧市のNPO法人「子ども総合支援ネットワーク」が主催の「冬休み自由研究お助け隊 手作りキャンドル教室」が14日、苫小牧市民活動センター（若草町3）で開かれました。

小学生や保護者、高齢者など14人が参加。キャンドルの材料は、こども村を利用する中高生らが溶かしたロウに赤や青、黄色などのクレヨンでカラフルに色付けて固め、約1cm角のキューブ型に切ったものを作って準備しました。

参加者らはキューブ型のロウソクをいくつか紙コップに入れ、溶かした白いロウを流し込んで製作。ハートや星に型抜きされたロウソクを飾り付けて完成させました。西小学校1年の久保香澄さんは「星の形のロウソクで飾るところが楽しかった。2つ作ったので1つ弟にあげたい」と笑顔で話していました。

## 木と風の香りのフイマ 小学生チアリーディングトリオが出演



◀息の合ったダンスを披露するプチフェアリーズ

NPO法人「木と風の香り」（辻川恵美代表）と苫小牧市住吉コミュニティセンターが共催の「幸せつながるノミの市フリーマーケット」が21日、同コミュニティセンターで行われました。

同法人は昨年6月に音羽町1に子ども食堂「木と風の香りカフェ」を立ち上げ、フリーマーケットは食堂の運営費に充てるため昨年12月から開いています。どちらも月1回の開催です。

今回は小学生のチアリーディングトリオ「プチフェアリーズ」が初めてゲスト出演。見事なダンスを披露し、来場者の目をくぎ付けにしました。メンバーの木下やよいさん（緑小3年）と笹川あずかさん（同・同）、笹川なぎささん（同2年）は「3人のダンスもそろって、スタンツ（組体操）もうまくいきました。皆さんに応援してもらってうれしい」と笑顔を見せました。

ボランティアの谷あつ子さん（68）は「フリーマーケットが定着し、毎回来て下さる人も増えてありがたいです」と話していました。

次回のフリーマーケットは2月18日に開催。同法人ではダンスやマジック、楽器演奏などの特技を、子ども食堂やフリーマーケットで披露してくれる人を募集しています。問い合わせは辻川代表（☎090-4541-0669）へ。



▲にぎわいを見せたフリーマーケット

## レクリエーション学ぶ ふれあいサロン研修会

苫小牧市社会福祉協議会が主催する今年度の「ふれあいサロン研修会」が25日、苫小牧市民活動センター（若草町3）で開かれました。

町内会やサロンを運営するスタッフなど約80人が参加。北海道ケアレクリエーション倶楽部の代表で、レクリエーション・ネットワーク北海道の理事などを務める南部広司さん（札幌市）を講師に迎え、誰でも簡単にできるレクリエーションを学びました。

「心が動けば身体も動く」をテーマにした講話では南部さんは自らの経験を盛り込み、利用者が「サロンに行こう」と思える場所作りや関わり方、レクリエーションを楽しんでもらうコツなどをアドバイス。参加者らはメモを取りながら熱心に聞き入っていました。



▲レクリエーションを体験する参加者